

緑の風 FAX版



JR 東労組ホームページ

NO. 124 2022年3月18日 JR東労組

福島県沖地震（3.16）

その2

緊急支援行動を行う！



仙台地本、バス東北本部、
仙台支部の仲間と

意見交換を行いました！

■被災状況について

- ・11年前より揺れた。
- ・もう少し揺れが長かったら東日本大震災と同じだったかもしれない。
- ・昨年の福島県沖地震で修繕した家屋がまた破損した。
- ・停電と断水がなかったことは救われた。
- ・新幹線が脱線したが、高速運転だったらもっと大変な状況だったかもしれない。脱線防止ガイドが効いたからあの程度で済んだのではないか。
- ・昨年よりも被災エリアが広い。

■地震に対する課題について

- ・会社は出勤に対して費用負担するが、帰路は負担しないため、自腹で後泊した人がいる。
- ・福島から社員同士でタクシーに乗り合わせて 5 時間かけて通勤した。費用が 58,000 円かかったそうだ。
- ・遠距離通勤が増えたので、災害時の判断は早めにしてもらいたい。
- ・経費節減で受信料を理由にテレビが撤去され、情報収集ができない。
- ・タブレット頼りなので、停電が発生すると何も情報を得られなくなる。予備電源が必要だ。

把握した課題の解決をめざします！

■バス東北の状況について

- ・各支店から仙台に人が集められている。みんな大変だが、こういう時だからこそ協力していく。
- ・やる時はやる！この頑張りを春闘や期末手当につなげたい。

■春闘について

- ・会社はあらかじめ回答を決めていたのではないか。チャレンジというがもう言葉だけでは頑張れない。
- ・カットされた部分は戻してほしい。
- ・昇給係数4は当然。ベアが欲しい。
- ・55 歳以上は定期昇給がない。若い人だけが頑張っているのではない。



全組合員一丸となり、全力で復旧をめざします！